

# 責任投資の中期取組方針(2030年3月迄)

- 責任投資の更なる推進に向けて、国内中核事業会社である第一生命(DL)と第一フロンティア生命(DFL)共同の中期取組方針を策定しました。
- サステナブルな社会実現に資する投融資の推進を通じてポジティブ・インパクトの創出に取り組みます。気候変動対応を最重要課題と位置づけ、GHG排出量削減やトランジションに資する投融資の推進、投融資先企業とのエンゲージメントを通じて、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

## 責任投資全般

### サステナビリティ・テーマ型投融資

- ・ サステナブルな社会実現に向けた投融資を推進し、累計**5兆円**のサステナビリティ・テーマ型投融資を実施
- ・ ポジティブ・インパクトの測定分野の対象拡大

### インテグレーション

- ・ 全資産においてアセット毎の特性を踏まえた環境・社会・ガバナンス要素のインテグレーションの更なる高度化

### スチュワードシップ活動

- ・ 資産毎・地域ごとの特性や投資家としての影響力の程度を考慮したうえで、全資産においてエンゲージメントを基軸としたスチュワードシップ活動を志向

## DL・DFL共同での取組み推進

## 気候変動対応

### 環境・気候変動ソリューション投融資

- ・ 累計**2.5兆円**の環境・気候変動ソリューション投融資を実施
- ・ 投融資によるポジティブ・インパクトとして、**2029年度年間GHG排出削減貢献量:約450万t-CO<sub>2</sub>e\***

目標改定

### 運用ポートフォリオのGHG排出量削減

- ・ 運用ポートフォリオにおけるGHG排出量**50%削減**(基準年:2020年)  
(注) DL:絶対量ベース、DFL:インテンシティベース

### 投融資先へのエンゲージメント

- ・ 運用ポートフォリオにおける排出量上位50企業に対する、継続的なエンゲージメントを通じたネットゼロ戦略の策定・実行促進
- ・ セクター別(電力・鉄鋼)に求められる削減水準を明確化し、気候変動エンゲージメントの取組みを強化

\* 各取組みの実績は、最新の[活動報告](#)にご参照ください。

\* 従来目標(2026年度240万t-CO<sub>2</sub>e)を超過達成したため、目標を改定